

施策17 生涯にわたる健康づくりの推進

作成日: 平成21年7月24日 主管課名: 生活福祉部国保年金課

施策名称	主管課	施策の対象	施策の対象指標	施策の意図	施策の成果指標	実績値 (H17)	実績値 (H18)	実績値 (H19)	実績値 (H20)	単位	目標値 (H20)	目標値 (H21)	目標値 (H22)	取得方法	指標取得主管課・係	算定式・取得先等	施策の20年度目標達成度とその要因	施策の22年度目標達成に向けての課題
17 生涯にわたる健康づくりの推進	国保年金課	市民	人口(17年3月末住民基本台帳人口+外国人登録人口)	生涯にわたって心身ともに健康を保持する	自分は健康であると感じる市民の割合	51.3	52.6	51.1	53.3	%	成 51.0	成 51.0	成 51.0	市民アンケート	国保年金課	・H20市民意識調査(問8)あなたは、市の健康管理に関する施策や、自分の健康状態などについて、日頃、どのように感じていますか？ 自分は健康であると感じていると思う 18.2% どちらかといえばそう思う 35.1%	成果指標は増加傾向にあり、徐々にではあるが健康づくり施策の成果が向上していると考えられる。 自分は健康であると感じる市民の割合は53.3%と20年度目標値を下回っている。 日頃、健康増進のために何か取り組んでいる市民の割合は93.3%と非常に高い水準にあり、20年度目標値を上回っている。 参考)市民意識調査では、かかりつけの病院や薬局がある59.0%、食事に気をつけている53.5%、定期的に健康診断を受けている55.5%、健康増進のために運動をしている27.5%となっており、比較的高い割合を示している。	・「自分は健康であると感じる市民の割合」が目標値に比べてやや低いことから、引き続き健康づくりについての市民意識の啓発と生活習慣の改善・実践を図っていく必要がある。 そのために、特定健診の実施率の向上、予防接種の接種率100%の達成、保健介護センター施設の充実を図る。 ・「医療需要の増大への的確な対応」 県立大船渡病院の機能拡充やスタッフ確保、地域医療の体制の充実、広域的な機能分担などを取り組んでいく必要がある。
					日頃、健康増進のために何か取り組んでいる市民の割合	91.3	92.5	91.4	93.3	%	成 82.0	成 82.0	成 82.0	市民アンケート	国保年金課	・H20市民意識調査(問9)あなたの、日常生活の中で、取り組んでいることはありますか？ 8.特に意識していない(3.4%)及び無回答(3.3%)を除いた割合	平成20年度の予算編成方針では、施策予算の水準を抑制しながら、成果の維持・向上を目指す施策となっており、19年度と比較して施策コストは抑制されている。 健康づくり推進員、食生活改善推進員や運動普及推進員など一般市民との協働・協力体制により市民の健康増進に努めた。 各種会合等における健康増進のための取り組みに若い世代の参加を積極的に呼びかけた結果、幅広い世代の参加者が集まった。	施策の振り返り(施策の20年度方針の達成状況)

基本事業名称	主管課	基本事業の対象	基本事業の対象指標	基本事業の意図	基本事業の成果指標	実績値 (H17)	実績値 (H18)	実績値 (H19)	実績値 (H20)	単位	取得方法	指標取得主管課・係	算定式・取得先等	基本事業の成果水準とその背景	基本事業の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み(事務事業)の実績
1 保健・予防活動の充実	国保年金課	市民	人口	健康に気をつけてもらう	希望者に対する循環器健診受診率	59.7	60.4	58.1	H20特定検診に移行	%	業務取得	国保年金課	制度が変わったため、指標の再設定が必要。 大船渡市健康づくり推進会議資料より抜粋((4)成人病検診)	循環器健診について、平成19年度までは市が希望者に対して実施していたが、平成20年度から各医療保険者が実施主体となる40歳以上の者を対象とした特定検診が義務付けされたため、受診率並びに要指導の割合及び必要医療の割合は算定不能である。	・保健事業 健康診査では申込者に対する受診率は、胃がん検診45.9%、肺がん検診48.1%、子宮がん検診74.8%、大腸がん検診61.6%となっている。 健康相談は1,042人から受けているが、約71.4%が高血圧に関連した相談となっている。 また、年間を通じた健康教育に関しては、参加者数が延べ(217回)5,117人となっている。
					循環器健診における要指導の割合	33.0	31.9	32.8	H20特定検診に移行	%	業務取得	国保年金課	制度が変わったため、指標の再設定が必要。 大船渡市健康づくり推進会議資料より抜粋((2)成人保健事業)	21年度以降の成果指標としては、特定検診については、40歳以上74歳以下の国保被保険者数と受診者数から算出する実施率が考えられる。なお、実施率の目標は各年度毎に設定済である。 また、特定保健指導については、動機付け支援と積極的支援の2種類だが、各々対象見込者数と実施者数から算出される実施率が考えられる。なお、何れも目標値は設定済である。	
					循環器健診における要医療の割合	59.3	62.1	61.9	%	業務取得	国保年金課	制度が変わったため、指標の再設定が必要。	日頃から意識して運動していることと答えた市民の割合は27.5%と対前年比でやや増加している。		
					日頃から意識して運動していることと答えた市民の割合	28.8	29.0	25.9	27.5	%	市民アンケート	国保年金課	・H20市民意識調査で取得(問9)あなたは、日常生活の中で、取り組んでいることはありますか？ 3.健康増進のために意識的に運動している(27.5%)	食事に気をつけていることと答えた市民の割合は53.3%で、前年度より0.5ポイント高くなっている。 日頃からの運動や食事に気をつけている割合は高齢者のほうが若い年代よりも多くなっている。	
					食事に気をつけていることと答えた市民の割合	54.0	56.9	52.8	53.3	%	市民アンケート	国保年金課	・H20市民意識調査(問9)あなたの、日常生活の中で、取り組んでいることはありますか？ 4.食事に気をつけている(53.3%)		
2 地域医療体制の充実	国保年金課	市民	人口	早期に適切な医療が受けられる	かかりつけの病院や薬局があると答えた市民の割合	55.1	56.6	57.9	59.0	%	市民アンケート	国保年金課	・H20市民意識調査(問9)あなたの、日常生活の中で、取り組んでいることはありますか？ 2.かかりつけの病院や薬局がある(59.0%)	かかりつけの病院や薬局があると答えた市民の割合は59.0%と年々増加傾向である。町別では、かかりつけ医や薬局を決めている割合が最も高い地区は綾里地区(約72.4%)となっている。	・在宅当番医制運営事業 休日における在宅当番医制での診療日数 74日(内科・外科 1,150人) 在宅歯科当番医制(185人) ・(綾里、越喜来、吉浜、歯科)診療所運営事業 各診療所ごとの20年度1日平均利用者数は、綾里診療所22.2人、越喜来診療所55.2人、吉浜診療所21.8人、歯科診療所19.0人であった
					医療体制が整っていると感じる市民の割合	34.1	29.9	23.7	31.8	%	市民アンケート	国保年金課	・H20市民意識調査で取得(問2)あなたの住まいになっている地域の生活環境や自然環境について、日頃、どのように感じていますか？ 医療体制が整っている そう思う(8.2%) どちらかといえばそう思う(23.6%)	医療体制が整っていると感じる市民の割合は31.8%と増加傾向である。 平成20年度末現在、市内の開業一般診療所数(直営診療所は除く)は20医院、歯科診療所数は16歯科医院となっており、国民健康保険診療所としては3内科診療所および1歯科診療所がある	